

(配膳図)

ひとくちメモ

<p>七月五日(月)</p>	<p>かんパン(中学校) バナナ おさかなウインナー 救給(きゅうきゅう)カレー ぎゅうにゅう</p>	<p>〇呉市学校防災週間 今日のひとくちメモは、うら面にあります。</p>
<p>七月六日(火)</p>	<p>なたでココフルーツ いちごジャムコッペパン さわやかあえ チキンビーンズ ぎゅうにゅう</p>	<p>〇なたでココ みなさんは、なたでココが何からできているのかわかっていすか？ なたでココは、ココナツの実に含まれるココナツ水に酢酸菌の1種類であるなた菌を加えて発酵させてできた食品です。発酵が進むとココナツ水の表面が固まり始め、ある程度の厚みになったところで食べやすい大きさに切ると、よく知っているなたでココになります。なたでココ自体には味が無いので、今回のようにフルーツ缶などと和えて食べることが多いです。</p>
<p>七月七日(水)</p>	<p>たなばたデザート いんげんのごまあじのなんばんづけ ごはん たなばたじる ぎゅうにゅう</p>	<p>〇季節の行事「七夕」 七夕は五節句の1つで、この日には笹竹に七夕飾りや願いを書いた短冊などを飾りつけます。また、日本では麦の収穫と七夕祭りが結びついている地域もあるようです。今日は星形のなるとやにんじん、そして藻塩めんを使って七夕汁を作りました。また、七夕をイメージしたデザートもあります。季節を感じながら給食を味わってくださいね。</p>
<p>七月八日(木)</p>	<p>かくチーズ(中学校) せとうちさっぱりサラダ コーンピラフ クリームスープ ぎゅうにゅう</p>	<p>〇食事のマナー「マナーとエチケット」 マナーは行儀や作法のことを言い、もとは食事をする際のしやフォーク・ナイフの持ち方等のテーブル作法のことを示していたようですが、現在では人と接する態度等もマナーと言われるようになりました。また、エチケットは、もとは人との接し方のルール等を表す際に用いられた言葉ですが、現在ではマナーと同じ意味合いで使われることが多いようです。</p>
<p>七月九日(金)</p>	<p>なっとう かぼちゃのそぼろに ごはん わかめのみそしる ぎゅうにゅう</p>	<p>〇納豆 納豆は大豆の加工品で、昔は蒸した大豆を藁苞という稲を束ねたもので包み、それを40度程度で保温しながら大豆を発酵させていましたが、現在では、蒸した大豆に納豆菌が含まれた液を均一にふりかけてパック詰めをして、40度程度で保温しながら大豆を発酵させて納豆を作っています。明日7月10日は語呂合わせで「納豆の日」です。それに合わせて今日は納豆を給食に出しています。</p>

いま ねんまえ へいせい ねん がつ お にしにほんごうらう くれし たいへん ひがひ
今から3年前の平成30年7月に起きた西日本豪雨により、呉市も大変な被害
を受けてたくさんの大切な命が奪われました。そして、その後しばらくは多く
の地域で断水や食料品の不足、道路の遮断などにより不便な生活が続きまし
た。そこで、呉市では昨年度から7月6日を含む1週間を「呉市学校防災週
間」として、「自分の命は自分で守る」子供の育成を目指して防災について学
習をしています。

かまがりがっこうきゅうしょくちようりじよう さくねんど つづ ぼうさいきゅうしょく じっし こんねんど
蒲刈学校給食調理場では、昨年度に続いて「防災給食」を実施します。今年度
は被災したことによりライフライン（生活に必要な水道・電気・ガス・物流な
どのこと。）が停止し、備蓄品や支援物資による食事（飲用牛乳は除く。）を
想定した給食を用意しました。

きゅうきゅう ひがしにほんだいしんさい ひさい ちいき きゅうしょくせつ とうかい こうつう
「救給カレー」は、東日本大震災により被災した地域で給食施設の倒壊や交通
遮断などにより支援物資がなかなか届かず食料不足に陥ったことなどの災害被
災体験の教訓をもとに、成長期の子供たちの栄養バランス、体力維持、心の安
定など、心身の健康に寄り添うことを目指して開発されたカレーです。食物
アレルギー特定原材料等28品目が使われておらず、開封してスプーンでさっと
かき混ぜれば食べることができます。また、「おさかなウインナー」や「バ
ナナ」は、支援物資として届くことがある食品です。これらの食品は調理をし
なくても食べることができます。

かん ねん ぼぞん ぐんたいよう しょくじ かいほう はじ
「乾パン」は、1842年に保存ができる軍隊用の食事として開発されたのが始ま
りですが、現在では防災食として利用されることが多いです。
きょう きゅうしょく とお ぼうさい いしき たか ねが
今日の給食を通して、みなさんの防災への意識が高まってくれることを願って
います。